



# 新しい酒は

# 新しい皮袋に

桂坂自治連合会顧問  
湯浅 忍

等の意見も出まし  
たが、当時、「桂  
坂は自然との共生  
ができるお屋敷街  
にしたい」という  
ことで、樹木の名  
前がふさわしいと  
いうことになりま  
した。

行つてはどうかという提案  
があり、検討の末、よし！  
これでいこうということ  
なり、毎月一回、日を決め  
て実行に移しました。

夏祭り行事についても、  
特にお盆や地藏盆という、  
京都の街らしい宗教色をど  
うしようかと検討の末、現  
在行われているような、宗  
教色をなるべく少なくした  
ものになりました。

「広報」通算五十号  
おめでとございます。  
寄稿の依頼を受けてまして  
おがましいですが、自治  
会発足当時の懐かしい想  
い出を、思いつくままに、書  
かせていただきます。

冒頭の「新しい酒は……」  
は聖書の一節ですが、桂坂  
小学校の開校に際して、私  
が桂坂小学校開設準備委員  
長としての挨拶を、この聖  
書の言葉を念頭においてさ  
せていただいたテーマです。  
桂坂の最初の自治会のス  
タートには、色々な課題が  
ありました。

自治会をつくらうという  
ことで、西洋環境開発より  
委嘱されて十名の役員が決  
まり（後、かえで自治会と  
して出発しましたが）会長  
をお引受けして、約八ヶ月  
間の設立準備期間に、自治  
会の内容（制度・会則・行  
事等）を何回も何回も協議  
しました。

何年か先に出来あがる桂  
坂学区全体の姿も思い浮べ、  
その時の「在るべき姿」を  
全員で考えました。

自治会の名前をどうする  
か。色、町名、番号、動物

# 広報発刊五〇号記念□特集

これは当時の松尾副会長  
（桂坂小学校歌作詞者、因み  
に大枝中学校歌の作詞者・  
永江様も当時の役員の一  
人）が、ワープロから引  
出された樹木の名前です。  
これなら全自治会の十五以  
上の名前はつけられる……  
「かえで」の名前も、「け  
やき」と両方が出て、なか  
なか定まらず、役員十名の  
投票によりましたが、結果  
は五対五。その時私は「け  
やき」派でしたが、会長一  
任ということになり、反対  
の「かえで」に決めました。  
また自治会の主行事をど  
うするかについても、随分  
時間をかけて話し合いまし  
た。京都市内のみならず、  
他府県から移転して来られ  
た方も多く、つねに知らな  
い者同士がこのお屋敷街で、  
お隣さんどうして仲良く  
生活をして行こうか。当時  
もう一人の小林副会長様か  
ら「おはようございます」  
という町内での挨拶運動、  
お隣との声かけ運動を進め  
るために、クリーン作戦を  
（九八・一・二十五）

## 桂坂自治連合会だより

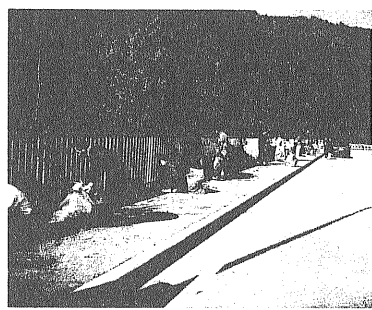
### 第一回ふれあいクリンデー

#### 成功裡に終わる

十一月十八日（日曜日）晴天に恵まれ第一回「桂坂ふれあいクリンデー」が無事終了しました。各自治会のクリンデーを桂坂全体に普及し、お互いの自治会同志のふれあいの場になり、又、桂坂全体の美しい街作り役立てればとの願いでしたが、事務局発表では約数百人の参加者との事、桂坂の意識の高さに改めて驚かされました。

掃を持つ人、くまでを担ぐ人、スコップを手にする人等それぞれの手で落ち葉を、空き缶を、道端の草を、又犬の糞をと気をつけて見れば、意外に多くのゴミの存在に驚いたり、日頃の散歩の行動の反省をしたり、子供達の無言の教育にもなったようです。

あちらでわいわい、こちらでがやがやと初めて合った人も多く隣の自治会の方々とおしゃべりにも花が咲いたようでした。次回も更に多くの参加が望まれます。



桂坂自治連合会は昭和六十三年四月に発足して来ました。「かえで自治会」「しらかば」「さつき」「あかし」「ひいらぎ」と出来てきましたが、今年度中には「サンシャイ」が、又来年四月には「御殿大枝山五丁目自治会」が出来合計七自治会になる予定です。

共同募金は昨年より倍近く集まり、目標額をオーバー致しました。有難うございました。西京区民まつりも前年比一三七％増でした。人口増加中の桂坂年も更に多くなるでしょう。大変感謝し胸を打ちました。毎年行われるのですが、一人でも多くの参加を期待しています。



桂坂自治連合会は昭和六十三年四月に発足して来ました。「かえで自治会」「しらかば」「さつき」「あかし」「ひいらぎ」と出来てきましたが、今年度中には「サンシャイ」が、又来年四月には「御殿大枝山五丁目自治会」が出来合計七自治会になる予定です。

平成元年七月、桂坂自治連合会が発足した。最初に出来た「かえで自治会」で、に写真でお知らせすること。隣近所の名前も顔もわからぬので、街のゴミ拾い、草抜きをやりもつて街を綺麗にしなから顔馴染みになる

## 自治連合会だより発行

かえで自治会 松尾 隆夫

第一回ふれあいクリンデー  
平成三年六月二〇日  
野鳥園オープン  
第三号  
平成三年一〇月二〇日  
第一回区民体育祭

等、全体の行事があるたびに発行した。  
その後一〇年、五〇号を数えるまでになり、百号、二百号まで続くことを楽しみにしている。  
右の縮小版は創刊号のコピーである。

ようにと始めたクリンデーを桂坂全体に波及しようと思えば、ささやかな広報で「ふれあい統一」が初めて実施されたのを機会に桂坂の状況を皆さんにお知らせしようとして『自治連合だより』を創刊号  
平成二年二月一〇日  
編集を担当されました

## 回想

元編集委員  
山田まゆみ

広報五十号の発行、おめでとうございませう。  
一九九〇年十二月に創刊号が発行されて以来七年、桂坂自治連合会の広報紙として連合会、各種団体の活動や身近な情報を住民に伝えてきた役割は大きいと思えますが、その紙面作りには、多くの方の協力と努力があったことと思います。

私が広報委員として発行に携わったのは、九三年冬から約二年間でしたが、振り返れば様々の思い出があります。わずか四人でスタートした委員会でしたが、それまで不定期であったものを、少しでも新しい情報を伝えたいと、概ね月一回の発行にしました。PTAの広報の編集を少しかじっただけの、素人の私も、あれこれ企画し、その上つたない文章を堂々と紙面に載せていただきました。思えば、忙しくも、また、多くのことを学んだ二年であったように思います。

当時、四人で担当を決め、それぞれが企画から取材、原稿依頼、時には自らも原稿を書き、それを集めて、紙面の割付け、印刷、配布までしていました。

「地域」担当となった私  
が書きたいいくつかの文章の中で、特に印象に残っているのは、「何回か連載しました『ふれあい』と『茶の間』の風土記」です。

桂坂の一角には「ふれあいの里」と呼ばれる総合福祉ゾーンがあります。同じ地域の住民として理解し合いたい、また、住民の方にもその存在を知っていただきたいと願い、施設紹介の記事を書きました。西養護学校、特別養護老人ホーム、沓掛寮、療養園、授産園、更生園を訪れ、施設の中を見せたいと、お話を伺いました。どこへ何つても丁寧に対応してくださり、いろいろとお話をしてくださいました。

中でも、障害を持った方が生活されている更生園の那須徹朗園長のお話は、今でも心に残っています。

「ここでは『先生』『指導』といった言葉は使いません。私たちはあくまで援助者であり、ヒューマンサービスをしているのです。地域との係わりは、ギブアンドテイクがあつて初めて成立するものです」という言葉は十数年、細々と続けている私自身のボランティアを今一度、原点に戻って考えさせられる一言となりました。すべての「いのち」と共に生きるそれが福祉ではないかと思えます。

次に『茶の間の風土記』ですが、これは、もとは、桂坂という街が、どのような出来上がったのか、その歴史を「おばさん」の目を通して「おばさん流」に語っていかうと言いつもりだったので、いざ調べてみますと、この大枝という土地は、古墳群から、その歴史は、何と太古まで





# 班 坂 桂 団 防 消

山本 佳子 ■ 式初出・ロールパト年末

こちらは大枝消防分団・桂坂班です。ただ今、年末特別警備中……

昨年暮れ、こんな声を聞かれた方はいらっしゃいますか？



年末特別警備詰所

自立たなかつたかも知れません。しかし来年は、現在建設予定の消防器具庫を詰所に、皆さんにもっと見える形で年末警備を行えるのではないかと思います。

さて、年が明け

三〇日までの間、私たち消防分団桂坂班は、サンシティ参番館の集会所を、仮の消防分団詰所にお借りして、年末の特別警備を実施しました。

消防署の巡回に加え、私たちも午後八時三〇分から一〇時からの2回、マイクで防火呼びかけながら桂坂地域を車で巡回したのですが、その時の声がお耳に届いたのではないかと思います。自分たちの町を自分たちで守ろうとする意気込みが、少しは伝わったでしょうか？

仮詰所のほうにも午後八時〜十二時の間、団員が待機しました。そこに巡回途中の消防署や大枝消防分団の方々が次々とお見えになり、熱気あふれる場所となりました。ただこの熱気も、立看板一つの仮詰所ではあまり

京都市出初式

京都市出初式 仮詰所のほうにも午後八時〜十二時の間、団員が待機しました。そこに巡回途中の消防署や大枝消防分団の方々が次々とお見えになり、熱気あふれる場所となりました。ただこの熱気も、立看板一つの仮詰所ではあまり

大都市の中でも京都は火災の少ない町だそうです。かけがえのない文化財や町並みを守っていくためには消防署の力はもちろんのこと、私たち一人ひとりの注意が何よりも必要です。毎月五日と二十日の夜は桂坂の中をパトロールして

「会館建設」に関して その経緯 二月一日より各自治会の役員の方々の手を煩わせて「消防器具庫・自治会館」建設の資金募集にご協力をお願いしています。この会館の建設は実は、九三年の第五回自治連合会総会以来の懸案事項です。

広報の記事としては九四年(平成六年)春の第六回自治連合会総会報告が最初です。「公共施設等の整備拡充」という重要議題の中で、バスの増便・交番の新設などと共に「自治活動、文化活動の拠点となる総合自治会館」が必要であり、「行政、西洋環境開発、住宅生協などにその建設を要請していく」ことが提案され、承認されたというものです。(広報「桂坂」一〇号 1994.5.2)

それ以来、各年度とも総会の重要議題として掲げられ、実現のために努力が続けられて来ましたが、

「必要性」について 以上、用地問題が進展しないまま、時間だけが過ぎていきました。一〇月一五日に開催された京都市との行政懇談会の席でも、この「桂坂自治連合会館の建設」問題をとりあげ、自治連合会のみならず各種団体の「会議・会合や文化活動の拠点」の建設を要請しております。(「桂坂」一五号 1994.10.3)

その後は、用地問題が進展しないまま、時間だけが過ぎていきました。一〇月一五日に開催された京都市との行政懇談会の席でも、この「桂坂自治連合会館の建設」問題をとりあげ、自治連合会のみならず各種団体の「会議・会合や文化活動の拠点」の建設を要請しております。(「桂坂」一五号 1994.10.3)

一九七七年 桂坂班が発足しましたが、これがきっかけとなって、用地問題も急転することになります。消防団を結成するには、消防署から配備される動力ポンプなどを収納する場所を確保せねばなりません。役員は「総合自治会館」のモデルとして、榎原小学校の校地右隅に建つ榎原自治会館や川岡小学校の校門の右にある自治会館(いずれも一階が消防器具庫)を参考に、望ましい会館を想定し、七月八日、「学校用地の借用」願いを小学校長に提出しました。

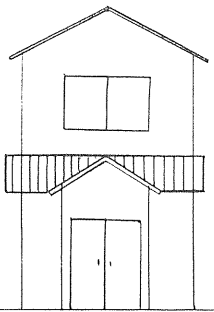
また、市の補助金を受けると、会館の建設関係・土木関係等の費用を具体的に申請書に記入せねばなりません。設計図を描き、建設費の算定を行いました。これが先ごろ趣意書とともにお手元にお届けした図面です。建設資金の募金額やその方法など具体的検討に入ったのもこの時期でした。

## 交番の建設 急ピッチ

旧国道9号線の桂坂口を入った、すぐ左側のところに「交番」が姿を現しました。鉄骨2階建。

大枝学区のほぼ中間、また、桂坂学区の玄関ともいえる恰好の位置に建てられるこの交番は、辺りの環境にも十分マッチしたものであつてほしいとの要望を酌んで設計されたはず。

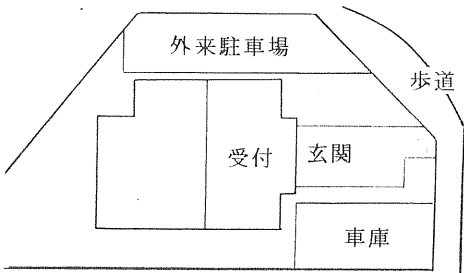
四月には警察官の日常業務が始まります。私たちに頼もしい限りです。



開設後は恐らくパトカーも常駐するでしょうし、安全な街を願う



四月には警察官の日常業務が始まります。私たちに頼もしい限りです。



「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし

「必要書」が起草されました。(菊池会長はじめ委員四十六名が署名捺印) すぐ行動に移し、京都市および西洋環境開発、京都住宅生協、住宅整備公団等へ陳情を行っています。八月二十五日、西洋環境開発に要望書を手わたし用地の提供を要請した際には「近々、保育園用地として一五〇〇m<sup>2</sup>の土地を京都市に提供する予定だから、その中で考えてほしい」との回答を得ました。(しかし